



こやま しょうま
（土山町北土山）
小山 茂さん

街道文化を盛り上げ、地域の活性化を

旧東海道土山宿の歴史の保存や文化の振興を目的に立ち上げられたNPO法人「あいの土山振興会」で、代表として活動されている小山茂さん。

「この地域には、歴史を生かしたこの地域ならではの街道文化があると思います。こういった文化を絶やすことなく、そして地域の活性化につなげることができたら」との思いで今年、同法人を発足されました。まずは、今までから行われてきた「あいの土山宿場まつり」を地域全体で企画し盛り上げようと、10月3日の開催に向けて活動されています。

「今年のまつりは地域の多くの方にご協力をいただいています。準備を進めていく中で一体感がとてもあるように感じています。やはり地域の力は大きいですね。」と話す小山さん。来場いただく方には地域の手づくり感のあるまつりの雰囲気味わってほしいとのこと。

まずは、まつりの成功が目標という小山さんですが、これからは、地域で活動される文化、芸術、スポーツの団体を支援し、振興を図っていきたく、将来的な構想も考えられています。

「地域の文化、芸術やスポーツなどの活動が盛り上がり上がると地域全体が盛り上がると思います。これらの活動は地域の活性化には欠かせないものです。地域の活性化は地域の頑張りだと思います。これからも『自分たちの地域は自分たちで盛り上げよう』をテーマに、元気なまちに向けて活動を続けていきたいと思っています。」と話す小山さん。



▲往時の面影を残す旧東海道

一層のご活躍を期待します。

ギネスに挑戦、世界最大のモザイク画

～世界に咲かそう鹿深の誇り～

鹿 深夢の森で9月5日、世界最大となるモザイク画作りが行われました。このモザイク画は、水口青年会議所の呼びかけで、甲賀、湖南市の子どもたちに、大切な人の笑顔を描いた絵を募集し、集まった約1万6千枚を張り合わせたもの。当日のイベントには、約千人が参加し、広場斜面の芝生の上に絵を並べ、7枚の花びらを持った「ラパテラ」の花が浮かび上がりました。1万6千の笑顔で描かれた世界一のモザイク画の誕生に、会場も笑顔で満ち溢れました。



▲完成したモザイク画

行楽シーズン前に公園がすっきり

～野洲川河川公園美化活動～

9 月3日、(社)滋賀県建設業協会甲賀支部、(社)滋賀県土木施行管理技士会甲賀支部の皆さんにより、野洲川河川公園の草刈作業が行われました。両会の皆さんは、毎年ボランティアで美化活動を行ってられます。今年には会員約80名の方が集まり、約1haの草刈作業を実施、厳しい暑さが残る日中でしたが、手際よい作業で、夏の間に伸びた草をすべて刈っていただきました。行楽の秋、ここを訪れる方も気持ちよく利用することができそうです。



▲汗を流しながら作業される皆さん

プロサッカーの技術を直伝

～希望ヶ丘小学校～

サ ッカーのアトラクタ五輪代表で、元Jリーグ名古屋グランパスエイトの小倉隆史さんが9月8日、希望ヶ丘小学校でサッカー指導を行いました。小倉さんからは、全校児童に、プロになるまでの経験や現役時代の大きがから立ち直った中でつかんだ思いなどの話があり、「夢を見つけたらそれに向かって頑張ろう」とアドバイスがありました。6年生にはサッカーの技術指導もあり、小倉さんの華麗な技を見本に、リフティングなどを学びました。また、サッカーボールを使ったゲームも行われ、児童はサッカーの基本的な技術や、チームワークの大切さを学ぶことができました。



▲ゲームをしながらチームワークを学ぶ児童

笑いと驚きで防災を学習

～防災研修会～

地 震大国日本では、防災がますます重要なものとなってきています。しかし防災といえば、何となく難しく堅苦しいイメージがあるかもしれません。そんな防災を楽しみながら学ぶ研修会が9月12日、碧水ホールで行われ、地域の役員の方や、住民の方ら約100人が参加しました。この日は、たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」の皆さんにより、漫才やクイズ、紙芝居など、分かりやすく楽しい題材を用いて研修が行われ、終始笑い声が絶えないものとなりました。また、身近なものを使った防災グッズの作成も体験、思わぬものが防災に役立つことを学び、日常生活に役立つ研修となりました。



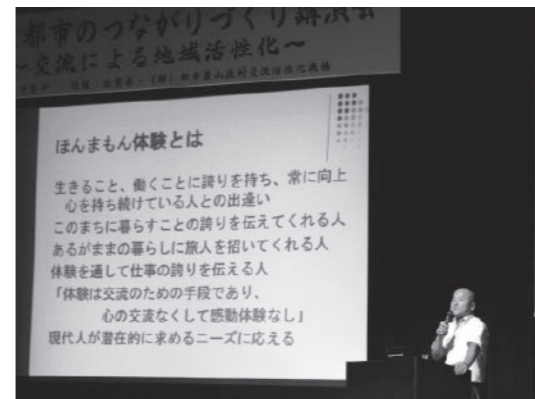
▲意外な答えに驚き、「クイズで防災」

地域の魅力をアピールするノウハウ学ぶ

～田舎と都市のつながりづくり講演会～

都 市に住む人にとって、農業・自然体験や地域の人の交流を楽しむ場として、農村に住む人にとっては、地域の活性化を進める場として有効な都市農村交流。9月4日、碧水ホールで、都市農村交流の魅力や効果などを知る、田舎と都市のつながりづくり講演会が行われ、地域で農業に携わっておられる方ら約150人が参加しました。

この日は、和歌山県を中心に、本物志向の田舎体験型観光に取り組み、観光力リスマ百選に選ばれた刀根浩志さんが講演、人を魅了するまちづくりについて、話されました。また他の地域の事例発表もあり、参加者は、交流の魅力、地域が秘める可能性などを学ぶことができました。



▲体験、交流について講演する刀根さん